

波乗り笑顔

● 青谷高サーフィン授業 ●

鳥取市青谷町の青谷高は2日、近くの青谷海岸で本年度初めてとなるサーフィンの授業を実施した。3年12人が講師の指導を受け、苦戦しながらも波乗りに挑戦した。

サイクリングやキャンプなどの野外活動を実践する特別授業「スポーツV」の一環。地域の豊かな自然に親しみ、挑戦する心や自信を育もうと、授業にサーフィンを導入して本年度で5年目となる。11月までのシーズン中に全12回実施する予定。

湯梨浜町のサーフショップ「クラウドサーフ」の横山仁志代表(45)ら3人が講師を務めた。横山代表は「目線が大事。下ではなく進行方向を見て」とコツをアドバイス。ボードの扱い方や



サーフィンに挑戦する生徒

手で水をかいて進む方法を指導した。

沖に出た生徒は、最初はボードの上でバランスを崩して転倒を繰り返したが、何度も挑戦し、立てるようになった。タイミングを見計らってうまく波に乗ると、歓声を上げて喜んでいた。

中学の頃からサーフィンの授業を受けたいと思っていたという石田竜太さん(17)。「難しいイメージを持っていたけど、波に身を任せたら上手に乗れた。達成感があってすごく楽しい」と話した。
(松本妙子)